

暮らしに役立つ
情報満載



住まいる ニュース

2022
vol.140



今月の
特集

24時間 換気システムって？

花粉やPM2.5、黄砂など空気の汚れが気になるこの時代、住まいの換気は健康的な暮らしを送るうえで絶対に欠かせない機能の一つです。そこで今回は建築基準法の義務にもなっている「24時間換気システム」について考えてみましょう。

シックハウスが起因となった 24時間換気システムの義務化

窓を開けなくても外気を屋内に取り込み、屋内の空気を排出することができる「24時間換気システム」が、2003年の建築基準法の改正によって、すべての建築物での設置が義務化されました。住宅では、1時間のうち0.5回以上の空気を換気するという換気回数の基準が設けられています。つまり、1時間換気したときに、屋内の空気の半分以上が入れ替える必要があるということです。そもそもこの法改正が議論されたのは、建物の木質建材や壁紙などに含まれる化学物質が原因となり頭痛やめまい、湿疹といった症状を引き起こす「シックハウス症候群」が多くみられるようになったことがその背景にあります。

「24時間換気システム」は給排気の方法の違いにより、次のように大きく3つに分類されています。それぞれメリットやデメリットが異なるため、その違いを覚えておくと良いでしょう。

第一種換気 給気と排気のどちらにも換気扇を設置して換気する方法。機械制御による換気が可能になる為、効率的な換気が可能です。取り込んだ外気を室温に近づけて給気する熱交換システムも導入可能ですが、電気代がかかるというデメリットも。

第二種換気 給気にのみ換気扇を設置して屋内の気圧を外気よりも高い状態にすることで排気口から自然換気を行う

換気法。病院の無菌室や工場のクリーンルームなどで採用されることが多い。屋内の空気が出にくく結露も発生しやすいため、住宅ではあまり採用されません。

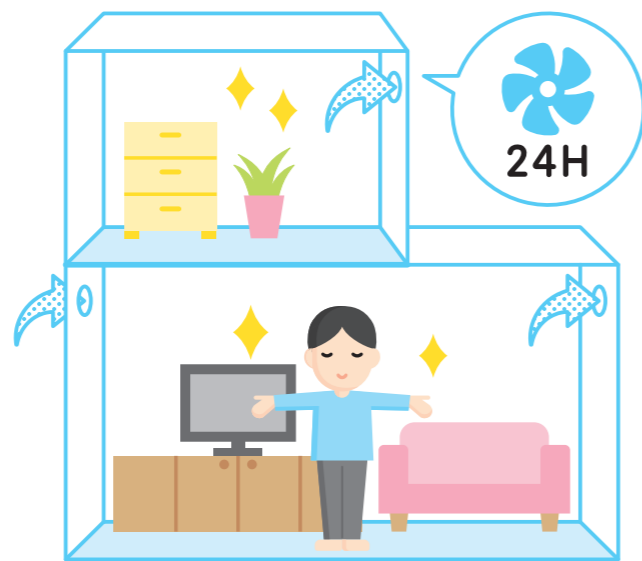
第三種換気 第二種換気の換気方法とは反対に、排気にのみ換気扇を設置して自然吸気で換気する方法。外気よりも屋内の気圧が低い状態になるため、湿気がたまりにくいというメリットの反面、外気温の影響を受けやすいというデメリットも。「FPの家」ではお客様にメンテナンスの負荷が少ないこの第三種換気を主に採用しています。

建物の効率的な換気には
高気密であることが絶対条件

いずれの換気法にしても、亀裂や穴が

空いたストローで飲料が上手く吸えなくなるのと同様に、隙間が多い家では十分な空気の入れ替えが行われません。そのため、効率的な換気を行うには建物全体が高気密であることが絶対条件なのです。

「FPの家」は、住宅性能を徹底的に高めることで優れた気密性を実現し、「高気密」「高断熱」「24時間換気」の3つがセットになった高性能住宅です。加えて「FPの家」では、そこに住む家族の構成までを考慮して換気計画を練っています。クリーンな空気と体への負担をなくして家族の健康を守る「FPの家」で、あなたの理想の暮らしを叶えませんか。



住まいの知恵袋

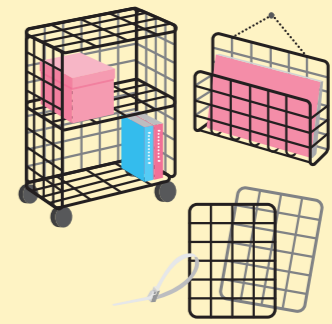
不動産登記



不動産登記は、その不動産がどこにあり、どの程度の大きさなのか、また、誰が所有しているかなどの情報を記載して公に示すために行われています。不動産の登記をすることで、不動産取引が安全・迅速にできるようになります。不動産登記は、家や建物を取得した時だけでなく、登記内容に変更が生じた場合にも登記を行います。例えば、不動産を購入した場合や相続した場合は「所有権の移転登記」を、また、家を新築した場合は「建物の表題登記」を行います。銀行の住宅ローンでお金を借りる時は「抵当権設定登記」、住宅ローンの完済時には「抵当権抹消登記」、建物を取り壊した時には「建物滅失登記」を行うなど、登記にもさまざまな種類があります。

できた！ 簡単DIY

ワイヤーネットの活用法

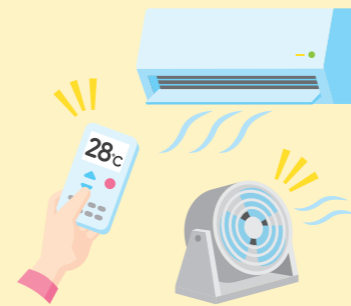


100円ショップなどでも手に入るワイヤーネット。今回は、このワイヤーネットを活用して、さまざまなアレンジに挑戦してみましょう。ワイヤーネット同士を結束バンドで連結。数段のボックス上にして上部にハンガーを付けてクローゼットのポールに掛ければ、帽子やカバンなどを収納できるラックになります。同じようにワイヤーネットをボックス状に組み上げてキャスターを付ければ可動式シェルフが完成です。ワイヤーネットを折り曲げて左右をワイヤーネットで固定すればマガジンラックにもなります。このマガジンラックを数段、縦に連結すれば、スリッパ収納にも。アイデア次第でいろいろな収納アイテムになるワイヤーネット。ぜひ活用してみてくださいね。

お金の豆知識

エアコンの節電術

電気代のかかる代表的な家電といえばエアコン。夏場の暑い時期はエアコンの使い方を工夫して上手に節約しましょう。節約のポイントとしては、①扇風機やサーキュレータを併用する ②設定温度を少し高めにする ③自動運転にする ④フィルターをこまめに掃除する ⑤室外機のゴミやホコリを取るなどが上げられます。



暮らしの1ポイント



海水浴

海水浴は18世紀中頃のヨーロッパで始まり、当初は皮膚の洗浄などを目的にした医療行為でした。日本では、海でけがれを払う「禊(みそぎ)」を行うなど、その昔、海は神聖な場所だと考えられていました。それが幕末に西洋の医療行為として広まり、やがて夏のレジャーとしての海水浴へと発展していきました。

Dr.住まいる

防鳥テグスで鳥対策

軒下やカーポートなどの鳥の鳴き声やフン被害への対策には、鳥が止まれるスペースを作らないことが一番です。鳥の被害対策として、施工が簡単で効果絶大なのが「防鳥テグス」。鳥が止まるスペースに細い針金や釣り糸などを張り、鳥の侵入を防ぎます。鳥が原因での被害にお困りの方はぜひお試しください。

